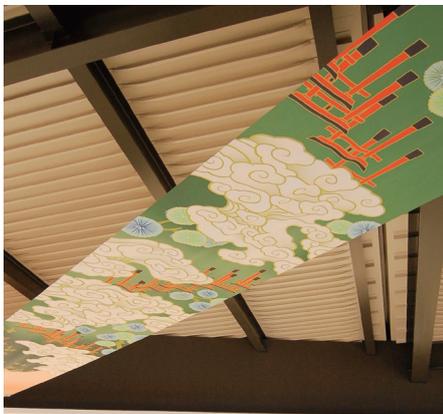




2



3



4



1

日本のSC

Shopping Center

「イオンモール京都桂川」

「京」の要素を現代的に取り入れた、新たな街の中核SC

2014年10月17日(金)、京都市南区と向日市の境界に位置するキリンビル跡地「イオンモール京都桂川」が開業した。敷地面積約9・2万㎡、延床面積約21・4万㎡、総賃貸面積約7・7万㎡の規模で、全長約280m、3層のモール棟とフィットネス棟の2棟で構成される。モール棟には、核店舗の「イオン京都桂川店」、京都府内最大級の「イオンシネマ」のほか、京都府初の110店舗を含む約220の専門店が出店した。モールコンセプトは「イオン町家入ル気分上ル」。知恩院の大屋根をイメージしたエントランスや円形窓、行燈の灯り、桂離宮の深い軒など、京都ゆかりの意匠を建物の内観に取り入れ、モールに入ると気分が高揚するような場の創出をめざした。

最大の特徴は、食関連テナントを全体の約3割に当たる61店舗導入したこと。地元京都の有名店などが並ぶ1階の食物販ゾーン「桂川小路」のほか、京都の路地文化を思わせる2階レストラン街「計1350席と「レイクタウン」や「幕張新都心」に次ぐ規模のフードコート」を配置した。ファッション&雑貨ゾーンについては服飾・生活雑貨の編集を高め、2階に女性をターゲットとした雑貨の編集売場を設けている。

公共交通機関に恵まれた立地にあり、車でのアクセスも抜群。商圏は桂川以西の10km圏内約66万世帯を想定し初年度の来館者数は約1500万人を計画している。

1 イオンモール京都桂川の外観。外壁には山並みの稜線をイメージするゆるやかな曲線を演出。円形窓は、日中は「夜明けの明星」を、夜は「行灯の灯り」をイメージしたシンボリックなデザイン。2 JR桂川駅と直結する2階デッキ。駅コンコースから2階売り場入り口までは約100m。3 モール南側のコートは、月見庭をイメージし「月の広場」と命名。内装デザインには、簾の水平ラインを取り入れている。4 京都ならではの意匠や和の要素を随所に採用している。5 川床をイメージしてつくられた2階店舗スペース。6 レストラン街「洛西小路」の北入口。1階の広場には外部ステージ「月舞台」を設置し、さまざまなイベントを行う。7 川床空間には、カフェ「ナナズグリーンティ」とライフスタイル雑貨・シューズ「ラバースルーム」を配置。8 レディース、雑貨、キッズを展開する「セシルデイズ」は京都初出店(1階)。

概要

所在地：京都市南区久世高田町376番1
 開業日：2014年10月17日
 総店舗数：224店舗
 敷地面積：約92,000㎡
 総賃貸面積：約77,000㎡
 駐車台数：約3,100台
 駐輪台数：約2,500台(自転車約2,300台/バイク約200台)
 施工：(株)竹中工務店
 建物構造：モール棟:鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造 地上4階、地下1階建
 フィットネス棟:鉄骨造 地上2階建
 URL：<http://kyotokatsuragawa-aeonmall.com/>



7



5



8



6